

□最近の活動状況

【平成28年度通常総会】

— 7月26日(火) ザ・セレクトン福島 —

平成28年度通常総会が行われ、平成27年度の事業報告、決算報告に続き今年度の事業計画と予算、役員体制の議案を審議し、いずれも原案通り可決しました。

総会終了後、大和田野芳郎・国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所長を講師にお招きし「再生可能エネルギーの動向とFREAの取り組み」と題し講演会を開催しました。



総会風景

その後、会員懇親会を開き、郡山からの新会員の方々を始め、多くの初参加者とともに和やかな雰囲気の中、親睦を深めることができました。

以下、大和田野所長の講演録を掲載しました。

○再生可能エネルギーの役割と動向

再生可能エネルギーとは、自然エネルギーのことでバイオマスも含めます。これまで頼ってきた石油や石炭は、無造作に使うと枯渇しますし、大気中にCO₂を排出し地球温暖化を招いてしましますが、再生可能エネルギーは、長期持続可能な唯一のエネルギーでCO₂排出削減や地球温暖化防止に貢献できるエネルギーと言えます。

また、一か所から大規模に発電して一方向に流すという従来と比べ、自宅や工場の屋根で発電できるなど分散することが可能でエネルギーシステムの頑健化が図ることができるため災害に強いエネルギーとも言えます。

日本の政策動向は、2014年に発表されたエネルギー基本計画の中で「再生可能エネルギーの導入を加速する」と謳われています。2015年に出された「長期エネルギー需給見通し」の中では、2030年度には、一次エネルギーの13-14%、発電量の22-24%を再生可能エネルギーが担うとなっています。2016年4月には電力小売り自由化が始まり、2017年4月からは固定価格買い取り制度の改正が実施されるという動きになっています。

世界の再生可能エネルギー導入量をみますと、風力・太陽光・地熱・バイオマスを全て合わせると785GWです。このうち太陽光だけをみると全世界

では256GW、日本は34.4GWが2015年末までに導入されています。導入量の多い国は、アメリカ、ドイツ、スペイン、イタリア、中国などです。今、世界的に見て再生可能エネルギーの導入量がダントツで多いのは中国で、非常に熱心に取り組んでいます。



講師 大和田野 所長

年間新規投資額は、全世界トータルで2015年は約30兆円と大きく増えている分野です。先進国と途上国に分けてみると、先進国ではある程度飽和してきていますが、途上国では投資が進んでいます。なかでも、インドが将来的には大きな市場としてターゲットになると考えられます。

日本の一次エネルギーの内訳と推移をみますと、東日本大震災が発生した2011年に原子力がゼロになって以降ほぼゼロで推移してきています。その分を、原油、また天然ガスで補っています。トータルの量が年々減ってきており、約1割の省エネを日本は達成しています。再生可能エネルギーは、全体に占める割合は非常に小さいですが、震災前の量から比べると倍近く増えています。水力以外の再生可能エネルギーの太陽光・風力等の量は3倍以上に増えています。

フレア ○FREAの取り組み

私共の研究所は、世界に開かれた再生可能エネルギーの技術開発拠点として、大量導入加速のための技術開発と、新産業の集積を通して復興に貢献することを目標としています。

FREAの主要研究テーマの一つに、水素キャリア製造・利用技術の開発があります。太陽光、風力発電などから水の電気分解で水素を発生させます。その水素を、高圧力のボンベに貯蔵して運ぶというのが従来の方法でしたが、水素を有機溶媒に化合させることにより通常の温度・圧力下においても液体燃料として貯蔵できるため運搬がしやすくなります。また必要時には、それから水素を取り出して燃料として使用します。実験の結果、40%を上回る発電効率が証明できました。

また私共の研究所では、国内外との連携、人材育成にも力を入れています。その一例に、被災地企業のシーズ支援プログラムがあります。福島県を中心に宮城県や岩手県の企業で開発された技術が、再生可能エネルギー分野で利用できるかを評価し、改良が必要であれば支援する取り組みです。平成25年度後半から現在に至るまで82件の共同研究を実施し、このうち4件が事業化・製品化に至っています。

【第40回経済同友会東北ブロック会議】

— 9月8日(木) 秋田市 —

東北6県と新潟県の経済同友会会員による東北ブロック会議が、秋田市の「秋田ビューホテル」にて開催され、当会からは渡部代表幹事、阿部代表幹事を始め6名が出席しました。

今年は「再生可能エネルギーを東北のパワーに」をテーマに、地球温暖化対策と地域振興の在り方が議論されました。パネルディスカッションでは、再生可能エネルギーの資源に恵まれた東北で、風力やバイオマス発電を事業化する際の課題を中心に意見交換が行われました。

また会議の最後に、外国人観光客拡大に向けての提言が発表されました。東日本大震災や東京電力福島第一原発事故による風評被害を踏まえ、海外に正しい情報を継続的に発信することや、東北へのアク

○最後に

再生可能エネルギーは、日本にとって重要なエネルギー源です。日本の技術力でリードし、世界のエネルギーマーケットに進出することが必要だと思えます。世界的に急速に広がっているマーケットに、日本の企業、福島県の企業が参加することを私共は支援していきたいと考えています。このためにも、福島県を始め国内外の企業・大学・研究機関と幅広く連携し多くの人が集まる拠点として活動し、被災地企業の支援、関連産業の集積、人材育成を通じて復興に貢献していきたいと思えます。(文責 事務局)



博多副代表幹事による乾杯

セス向上や受け入れ環境のインフラを整備することなどの施策が盛り込まれた提言を、復興庁や東北運輸局に手渡しました。



渡部 代表幹事

□事務局だより

- 平成28年10月現在の「要覧・会員名簿」が発行になりました。
- 平成28年6月～9月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

新規入会		平成28年6月入会 し の ぎ む う じ 篠木 雄司 (株)アポロガス 代表取締役社長		平成28年7月入会 あ お き さ と し 青木 智 (株)東邦銀行 執行役員本店営業部長
		平成28年6月交代 あ じ さ と し 阿字 聡 東邦信用保証(株) 代表取締役社長		平成28年7月交代 お お う ち ひ ろ き 大内 弘之 第一温調工業(株) 代表取締役
会員交代		平成28年7月交代 お に ざ わ と し ひ さ 鬼澤 俊久 (株)常陽銀行 福島支店 支店長		平成28年7月交代 は ん ざ わ た か し 半澤 隆 (株)インフォメーションネットワーク 福島 代表取締役社長
		平成28年8月交代 か ん し ゅ う い ち 菅野 修一 (株)商工組合中央金庫 福島支店 支店長		平成28年8月交代 に へ い か ず ゆ き 二瓶 一之 (株)大東銀行 福島支店 執行役員支店長

引き続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(平成28年9月20日現在 会員数85名)

○平成28・29年度役員体制

7月26日の通常総会において次の通り決定しましたのでお知らせいたします。

福島経済同友会 平成28～29年度 役員 (敬称略)

代表幹事 (筆頭)	浅倉俊一	ダイユー・リックホールディングス(株) 代表取締役社長	常任幹事	樋口郁雄	福島信用金庫 理事長
代表幹事	渡部世一	(株)ダイユーエイト 代表取締役社長	"	村田文雄	福島県信用保証協会 会長
"	阿部隆彦	(株)福島民報社 相談役	"	山川 章	(株)山川印刷所 代表取締役会長
副代表幹事	北村清士	(一財)とうほう地域総合研究所 理事長	"	渡邊和裕	(株)山水荘 代表取締役社長
"	五阿弥宏安	(株)東邦銀行 取締役頭取	会計幹事	大村雅恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長
"	中村啓治	(株)福島民友新聞(株) 代表取締役社長	"	長谷川登喜雄	(株)ハセガワーク 代表取締役
"	博多義雄	福島テレビ(株) 取締役相談役	幹事	青木 智	(株)東邦銀行 執行役員本店営業部長
"	森川英治	朝日システム(株) 代表取締役社長	"	石本 朗	(株)福島丸公 代表取締役会長
"	渡邊博美	(株)福島銀行 取締役社長	"	蒲倉達也	福島リコピー販売(株) 代表取締役社長
常任幹事	菅野日出喜	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	"	川瀬成人	(株)川瀬酒販 代表取締役
"	齋藤高紀	菅野建設(株) 代表取締役	"	三枝通晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長
"	佐藤健介	こころネット(株) 代表取締役社長	"	鈴木宏幸	(株)杜設計 代表取締役
"	信国一朗	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	"	高橋雅行	(株)福島民報社 代表取締役社長
"	林由美子	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	"	三浦康伸	東開クレテック(株) 代表取締役社長
"		タカラ印刷(株) 取締役会長	事務局長	渡辺光則	(一財)とうほう地域総合研究所 常務理事

編集日誌

- ◇ポケモンGOが日本に上陸した7月下旬。モンスターを捕まえるべくスマートフォンをかまえる人をあちらこちらで見かけました。
- ◇その頃の私とはというと、子どもたちとポケモンではなくカブトムシを捕まえる事に必死。自宅周辺にはカブトムシが寄ってきそうな樹木がたくさんあり、すぐ捕まえられるだろうと思いきや大間違い。蜜を塗ったり、バナナを発酵させた自家製トラップを仕掛けたりといろいろ試しましたが樹木に集まるのはアリばかり。結局、1匹も捕まえることができずに夏が終わりました。
- ◇ポケモンGOのように便利なお知らせ機能があれば苦労はないのに…。来年こそゲットだぜ!!(今野)

□会員企業紹介 【第12回 ダイユー・リックホールディングス株式会社】

今回は、9月1日に株式会社ダイユーエイト（福島市）と株式会社リックコーポレーション（岡山市）の経営統合により「ダイユー・リックホールディングス株式会社」が発足し社長に就任された当会の浅倉代表幹事にインタビューしました。設立の経緯や今後の展望などお話を伺うことができました。

○ダイユー・リックHD設立経緯

流通小売業界を取り巻く市場環境は、人口減少や節約志向などを背景に、企業間競争の激化や流通再編の動きなど、今までにない激動の時代を迎えています。



代表取締役社長 浅倉 俊一氏

株式会社ダイユーエイトは、お客様に更なるサービスを提供することを目的として、2009年3月に岡山市に本社がある株式会社リックコーポレーションと業務・資本提携に関する基本合意書を締結し、相互の企業価値を高め、商品の共同開発・調達を、より強固なものにするべく連携を強めて参りました。

そしてこの度、これまでの提携協力関係を大きく前進させ今後更に「攻めの経営戦略」を推進していくべきとの共通認識の下、対等の精神に則り経営統合いたしました。持株会社体制へ移行することで、両者それぞれの企業文化、地域特性を活かした経営戦略が可能となります。統合によるスケールメリットを生かし、高いシナジー効果を発揮できるよう取り組んで参ります。

○人財育成について

「全ては、お客様の喜びと満足のために」お客様の求める商品も情報も、全ては店舗を起点として人から人へと繋がりますので、今後ますます求められるものは、人によるサービスだと考えています。

そこで当社では、「人材」を人の財産と考え「人財」という字を使用しています。

社員の成長が会社の成長に繋がると考え人財育成に大きな力を注いでいます。具体的には、内定者向けに行う入社前合同研修に始まり新入社員研修や2年目研修などきめ細かく実施しています。その後も、それぞれの経験や職位に応じたキャリアアップを支援するための教育・研修プログラムもあり、DIYアドバイザーや危険物取扱者などの資格取得や、自己啓発のための通信教育講座や海外視察研修の受講を推進しています。

○今後の展望

今後の具体的な展開としては、一つはプライベートブランド商品の開発を進めることです。2017年春から新しいロゴで展開し、現在の売上構成比の6%から20%に引き上げることを目標としています。

もう一つは、ペット専門店「アミーゴ」を展開するペットショップ事業を分社化し5か年計画で現在の59店舗から100店舗に増やし全国展開することです。ペット産業は現在も成長しており今後も拡大が見込めますので、東京に本社を置き、全国ネットワークの中でトップブランドの地位を築き日本のペットショップにしたいと考えています。

ホームセンターは地域の重要なライフラインの一つです。地域のお客様に更に支持・期待される店舗となれるよう、価値ある商品の充実を図り、提供し続けたいと考えています。

これからも、コンプライアンス経営を最優先した上で、2020年の売上高1,000億円達成を目標にチャレンジ精神をもって様々な施策に取り組んで参ります。





住 所	〒960-8151 福島市太平寺字堰ノ上58番地
設 立	2016年9月
従業員数	正社員/1,062名 パート社員/2,381名(8時間換算)
T E L	024-563-6818
U R L	http://www.daiyulic-hd.co.jp/